

蒲生干潟の植物③7

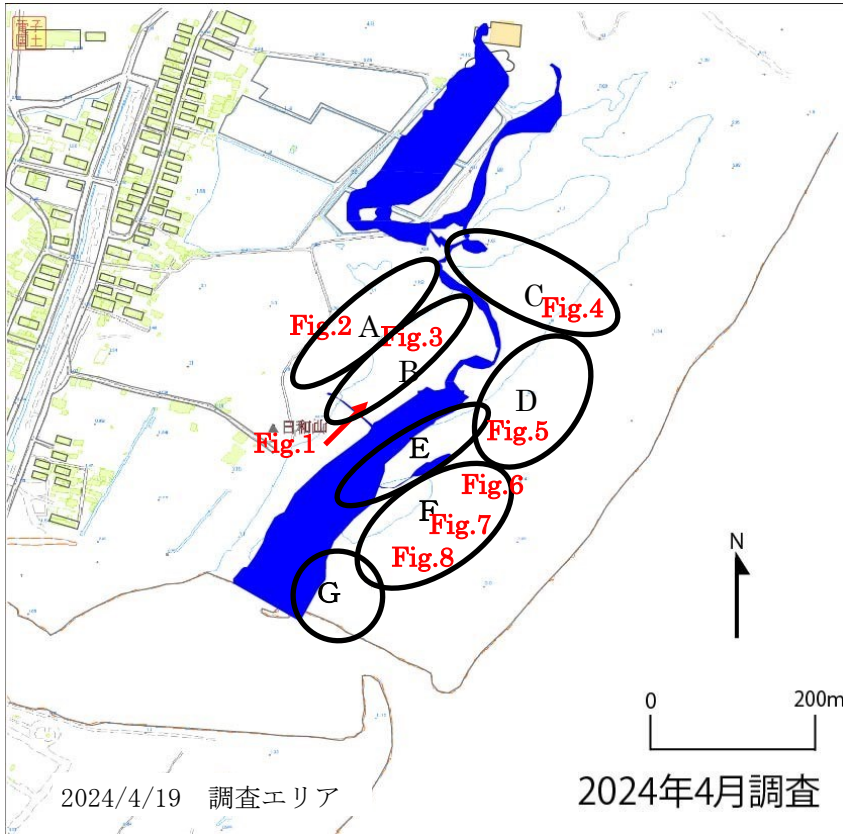
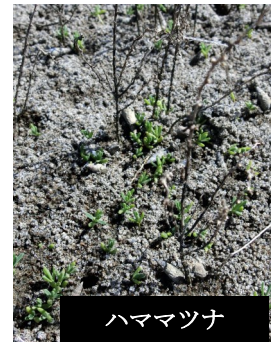


Fig.1 エリアBを南西側から撮影



ヨシ

Fig.2 エリアAで撮影



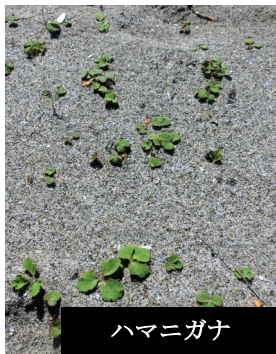
ハママツナ

Fig.3 エリアBで撮影



シオクグ

Fig.4 エリアCで撮影



ハマニガナ

Fig.5 エリアDで撮影



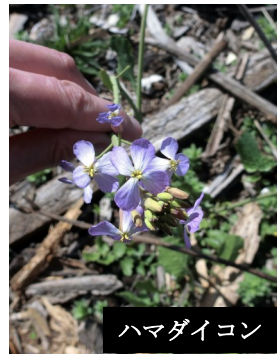
ハマエンドウ
ハマヒルガオ

Fig.6 エリアFで撮影



コウボウムギ

Fig.7 エリアFで撮影



ハマダイコン

Fig.8 エリアFで撮影

調査日時：2024年4月19日（金）9:45～11:00，天気：晴れ

水がかなり少なく、午後の満潮に向けてこれから水が増えてくる時間帯であった。定点観測では、先月同様全体が茶色のままであった (Fig. 1)。エリアAのヨシは、30cmほどに成長した新しい葉が確認できた (Fig. 2)。エリアBのハママツナは、先月からわずかに大きくなったただけであったが、全体的に密度が濃くなったように感じた (Fig. 3)。エリアCのシオクグは、20cm以上に成長し、生息範囲も昨年度よりも広がっていた (Fig. 4)。エリアDでは、ハマニガナの葉が数多く見られるようになった (Fig. 5)。エリアDからエリアFにかけて、ハマエンドウとハマヒルガオの葉が数多く確認された。年々その密度は濃くなっている (Fig. 6)。エリアFではコウボウムギの新しい花序ができているのが確認できた (Fig. 7) エリアFの流木があるあたりでハマダイコンの花を確認した。これまでハマダイコンの記録はない。1個体のみで、十数輪の花を咲かせていた。他の植物よりも開花が早い植物であるため、今後も注視していきたい。

(宮崎佳彦)